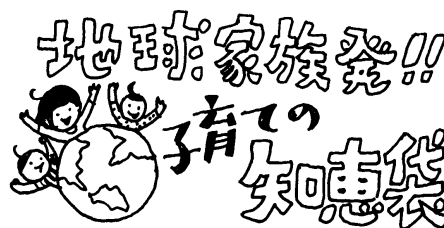


保育園での異文化体験エピソード



その18 英語わからなくても…!



イラスト・うつろあきこ

な おこさんが、家族と一緒に米国・ニュージャージー州に渡ったのは5歳のとき。そこに家族は13年間滞在し、彼女はその後も単身で大学院(音楽教育)を終え、今から6年前に帰国。現在は、インターナショナルスクールの音楽教師です。

「幼稚園がはじまる前日、母に連れられて行ったら、『あなたの席はここよ』と先生にいわれ、翌日はそこに座りました。翌々日もそこに座ると『違うよ』と友だちにいわれ、訳がわからなくて最後に残った席に座りました。先生は、全員の名札を毎日違う場所に張り替えて、いろんな友だちとふれあえるようにしていたことは、後になって気がつきました。

ルールがわからなくても、どんどん遊びに加わりました。遊びながらルールがわかってきて、英語がわからなくても遊び友だちができていきました。

また、外国人を対象に『英語の補修クラス』があり、基本から教えてくれたので、1年経ったら、だいたいわかるようになりました(幼稚園は、同じ敷地内に小学6年生まである公立園・校でした)。

なおおさん一家は帰国後、わが家の隣に3年ほど住んでいて、いろいろと話す機会もあったのです。

(湯浅とんぼ/全私保連・保育国際運営委員会特別委員)

「地球家族ネットワーク」へのお誘いとエピソードのお願い

保育は、世界中の人と仲よく生活できること(平和)を伝える役割があります。

そこで、国際交流や外国籍の子どもたちの保育について情報交換をしたい方は、「地球家族ネットワーク」に参加してみませんか?!

また、外国籍の子どもを受け入れて、心に残るエピソードがありましたら、ぜひお寄せください。

全私保連 保育国際交流運営委員会

TEL 03-3865-3880 / FAX 03-3865-3879

E-mail : ans@zenshihoren.or.jp